

第5回

『東亜日報』を読む会

1975年5月10日

於 大阪市立労働会館

- ◇ 赤字激浪にほんろうされる漁村 4.4付 2頁
- ◇ シリーズ「今日を生きる韓国の庶民 99
防犯隊長 朴春奎さん
月刊誌「新東亜」 74年3月号 8頁
- ◇ マンガ 5匹のおじさん 4.10~5.2 15頁
- ◇ 社説「東亜広告弾圧 4ヶ月」 4.25付 20頁

東亜日報を読む会

連絡先

〒655 神戸市垂水区多聞台3丁目10-75-201
七ツ方

TEL: 078-781-8677

4月4日 東亜レーダー

赤字激浪にほんろうされる漁村

＝全国主要漁港を通してみた実態＝

漁業協同組合は、年ごとにわずかの採漁資金を一部漁民に貸付け、大部分の漁民は採漁資金の恵みを受けることができず、高利貸金を借りて出漁したり養殖事業を行なっている。漁協は、延滞なく返済できるとみる漁民に貸付け採漁資金を貸付け、採漁資金がなければ出漁が困難な零細漁民は、さらに打撃を受けている。このような深刻な資金難の中で油の価格は継続して上昇、魚の価格は足踏み状態で、漁民は赤字採業に苦しんでいる。こうした現象は年ごとに繰返され累積し、ことしはその上採業資金規模がさらに小さくなり、養殖資金と漁船建造および動力改良資金は断たれることが多く、宿願の漁船動力化事業は逆に後退しているありさまである。漁業装備を現代化し漁民を保護するために水産業協同組合が発足してからことし'13年。水協傘下には88漁協と1651漁村契が組織され、事業資金規模も発足当時の44億ウォンから1兆492億ウォンに増えた。しかし^{近海}近海漁業部門の採漁融資規模は、'67年に68億ウォンであったものが、ことしは69億ウォン以上は策定されず、油類の代金と各種資材の価格暴騰で圧迫されている漁民が、支援を受けられずにいる。このため釜山港では、零細漁民に出漁資金を貸付け、帰港すれば漁獲高から現物で取り上げる仲介人の横暴が深刻になり、全南麗水漁協の場合、漁協所属の漁民中25%が、日5~6%の高利貸金を借りているとされる。また江原道溟州郡注文津港の場合、漁協に加入しても組合費を払うだけで何らの恩恵も受けられないため漁協にさげすみを向き、注文津港所属の漁船483隻中、約200隻が組合に加入していない。本紙地方取材網を通して全国の主要漁港別に漁民の実態をさぐってみる。

(見出し)

減らされた融資、資金も不足

高利貸仲介人 現物強制の横暴

油など採業費は水より、生産額足踏み

漁船動力化不振、廃油汚染のかき返送も

八段階の流通過程 中間商のみ暴利

＝ 支那場以外の商い、漁獲量の60% ＝

《釜山》釜山港をはじめ周辺の漁港の遠近海水産業界は、当局の消極的なる漁民保護施策と生産額を高めるに上る物価高に、仲介人の資金圧迫まで重なり、引き続き零細性が引き出されている。

'73年以降の油類価格は880%、資材費は200~300%、人件費は80%、漁具は130%も上昇した。

しかし、漁協の資金支援は、資金相模や適期供給面で実効を上げることができず、いわゆる仲介人が貸付ける高利貸金を用いるしか手はない。漁協の不振の間に、支那場を通さずに売買される漁獲物は、全体の60%に達している。

そのときに流通構造の不合理さに便乗、中間商人が暴利をむさぼっている。漁民が魚をとってくれば産地集荷場→中買人→搬出商→中央卸売市場→中売人→卸売→小売→消費者の8段階もとおって、漁民が釜山共同市場で32ウエンで売ったそばを、ソウルの消費者は倍以上の70ウエンで買って食べる不条理を呈している。

結局、漁民は原価を割る生産を重ね、消費者は高い価格で買うという不合理の中で、漁民に資金を貸す仲介人と中間流通過程の商人だけが良い目を見ている。

仲介人は出漁資金がない零細漁民に資金を貸付け、帰港時ごとに漁獲高から3~7%の口銭を現物で取り立てている。'64年以後公式的にはこれを禁止したが、集荷場や魚市場の中買人形式でいぜん続いている。

物価高の圧迫の中で、当局の資金支援が微々たることにつけこみ、小さい仲介人に、漁民は肉実を奪われたわけだ。

このような痛弊を克服するため水協は先ごろ、'77年までに仲介人制度を根絶させることを打ち出したが、長い間深く根を張っているこの痛弊が、そうたやすく根絶されるかどうか、漁民もちょっと信じられないといった表情である。

＝ 無動力力船64%、資源すく枯渇 ＝

《仁川》仁川港の場合、こよいに入りさる9日現在で合計10394トンの魚が入荷し、16億3294万ウエンという極めて低調な出荷額実績をあげたが、これは昨年同時期に1億621トン、17億6252万ウエンの

出荷額実績をあげたのに比べれば、物量面では127トン、金額面でも1億1958万ウォンも後退しているわけだ。

このため資金が思うと通りに回転できず、さる3月現在、水協京畿道支部の各種水産資金貸出し額 19億6,202万4000ウォン中、回収額はここの目標額 8億9100万ウォンの14%である1億3470万9000ウォンにすぎない。

まして、昨日までも漁民は、対日請求権特別資金に依存してきたが、ことさらはこの貸資金の恩恵がなくなり、水協が貸出す届出資金だけに依存しなければならぬありさまで、漁船動力化など漁民の要望は、実現がさらに難しくなっている。

水協京畿道支部管内には、52700余の漁民が合わせて3150隻の漁船を保有しているが、この中の動力船はやっと36%である1140隻だけで、残りの64%の2010余隻が無動力船で、ほとんどが木船であり、船齢もまた10~20年にもなる古い船である。

動力船の場合も20ト2級未満の小形船舶が1000余隻にもなり、無動力船の92.6%である1860余隻が10トン級未満で、漁船の現代化は急を要する課題である。

水協京畿道支部管内の漁船は、それ以外にも、'69年からの西海漁労の限界線南下措置で、^{いしほと(16隻)} 養鱒の養金漁場として知られた延坪島近海への採業が統制され、水産資源枯渇現象などで採業がさらに困難となり、中部以北の島々の漁民がさらに陸地へ移住してきている。京畿道蘆津郡管内の45ヶ有人島の場合、'68年に63768名であったものが、7年後の現在では56100名に激減減り、人口の自然増加率まで考えれば、約8000余名が陸地に移住したわけだ。

＝船は売りに出し、害虫で養殖打撃＝

《震水》 全南麗水漁協の場合、毎年分期別に放出された採漁資金が、ここの1.4分期に1回しか放出されず、その上額があまりにも少なく必要時に出でこず、採漁資金および養殖資金による実効性を収められないでいる。ここの割り当てられた1.4分期の採漁資金は、所要額の20分の1にすぎない900万ウォンで、極く少数の漁民を除いた大部分が、資金支拂の恩恵にあずけられなかった。

同所漁協は、ことし割当てられた操漁資金(年利12%、償還期間1年)900万ウォンを管内漁民(組合員)にもれなく分け与えると、容れがあまりにも小さくて出漁や養殖事業に使えず、他の用途に消費して(まことに憂慮、全漁民2115名中延滞なく償還できる能力のある70名を選定、先月下旬にすべて融資してしまい、実際に操漁資金を渴望している2045名は、操漁資金の恩恵を全く受けることができなかったのが、このような現象は、年ごとに繰り返されているのが実状である。

昨年まで操漁資金以外に養殖資金、漁船建造および動力改良資金も放出されていたが、ことしは操漁資金以外は出ず、同所1630余りの養殖漁民は資金の恩恵を一銭も受けることができません。そのため春の通期およびかまの養殖時期と前にして、漁民の25%ぐさいが月5~6%の高利貸金を借り、出漁および養殖準備をしている。

まして油類波動以後、油類と漁具資材の価格は大きく上昇、反面魚の価格は足踏みで赤字操業を免がれ得ず、養殖業の主体となっているかまは'72、'73年間の二年間、全養殖場の海中に虫がまんえんし、40%以上の減収となり、昨年以後は過剰生産で販路開拓がたふすま価格がさらに暴落、大きな打撃を受けている。これにともない、その間に借りて使った操漁資金などをそのつど返すことができません、漁民の年債額は増えており、一部漁民は赤字操業はできないという、漁船を売り払~~おうとし~~たが、漁船の値段が1年前に比べ平均20%も落ち込んだので買おうとする人はない。

麗水市コンファ洞の崔某氏は「漁協の分期別操漁資金は期待できず、漁協自体~~で~~信用貸出しする操漁資金は、利率が年利15.5%と高く、その上融資を受けるのが難しいので初めから放棄しており、社債を受けて出漁したとしても赤字操業を免れることはできず、10トンクラスの漁船を安値で売ろうと出しても買う人はない」とため息をついた。

麗水漁協によれば、管内(麗水と麗川郡栗村サミル、ソラ面一帯)1400余家族の漁民が漁協に負っている借金は、操漁資金、養殖資金、漁船建造および動力改良資金などあわせて4億8367万ウォン(一家族あたり34万5000ウォン)であるが、この中の延滞容額は4000万ウォン(200余件)に達している。

このように旧年の借金が延ばされ、漁民は新しい操漁資金の融資

を受けることができないにいたるのだが、社債を受け取って出漁しても、価値が維持できず生産活動は、さらに萎縮するという悪循環に陥っている。

漁協側は、また6月末までに延滞額を回収するために、あらゆる法的措置をとる方針を打ち出し、この月の下旬からは漁村にさし押え旋風が吹き荒れそうだ。

一方鹿児島漁協管内の(船漁)数は、14日現在であわせて971隻(動力船572隻、無動力船399隻)であるが、このうち80%が10トン未満の小形船舶であり、40%が船齢10年を越える古い船舶で、通船動力化、大型化および船質改良事業は促求されるが、漁民が資金難で手が付けられないまま、装備すらそれなりに備えることができないで遠海へ出漁は思いもよらないでいる。漁民は、やと近海でだけ操業しているが、78年前から近海で凶漁が続いたのど不法漁撈が盛行、沿岸漁業が枯渇状態になり、漁獲量は年ごとに減少しているありさまである。

ある漁協関係者は「小形漁船の場合、船齢が5年になれば船体修繕など船質改良しなければならぬのだが、漁民の大部分が資金難で手が付けられないまま古い船で出漁、効果的な操業ができないうと明かした。

この地方の漁民は、融資申請など漁協の各種請願がそのつど処理されず、取返の態度が不親切で、特に養殖場に害虫が繁殖したり廃油などで汚染された大きな打撃を受けた場合、漁協が先頭に立って被害防止や保障および解決策を提示しなければならぬのだが、極めて微温的で、販路難で各種魚類が暴落、打撃が大きいため、販路開拓などの対策を全く出さなかったとして不平をいっている。

鹿児島郡サミル面サッお里漁村梨の金某氏など漁民80余名は、「サミル面^サへ流れてきた廃油で、お里村の前の養殖場で生産していたが、まがいつも油のにおいがして商品価値が落ちこぼれ、対策を漁協にあらゆる機会に要請したが、今までどんな対策も出してくれないでいる」といながら「昨年12月には、かま20トンを生産、ソールへ搬出したが、油のにおいがするという理由で拒否され、すいぶん大きな損害を出した」と語っている。

このほかにも漁協は各種資金支援はもちろん、漁撈および養殖にとり技術指導など漁民の所得増大のための指導事業に気を配らなければならないと、漁民のための漁業協同組合として多くの問題点を挙

産み出している。

＝出漁ごとに借金＝ 《群山》

＝10年米の凶漁、漁協加入敬遠＝ 《江陵》

} 省略

全國 주요 漁港을 통해 본 實態

赤宇激浪에 휘말린 漁村

기름값은 2배 올랐고, 연료비는 3배 올랐다. 인건비와 출하비 못하곤 있는 어민들
이 부추에 나와 어민들 손바닥이 갈라진다



기름값등 操業費 鉅총 生鮮값 제자리
漁船動力化부진·廢油오염된 굴 반송되기도
8 단계 流通과정 거쳐 中間商만 暴利

今日を生きる韓国の庶民 ⑨

防犯隊員 朴春奎さん

取材 金光協
(東亜日報社新東亜部記者)



(朴春奎さん - 左端 - とその家族)

＊糊口之策、防犯隊員

今日、この時代を生きていく韓国の庶民たちは疲弊している。かつてないほど困難を耐えがたいものである。ともかくも糊口之策にあたるにしている。しかし「庶民」という言葉こそは、いつの国、いつの社会の求心を具現している。それはあらゆる逆境に克ち雑草のように時代を生きている。あたかも路傍にある一株のオオバコのようなのである。しぶとく旺盛に生を営みながら萌え出る。

無数の人々のようには人々の中で、一人の防犯隊員・朴春奎さんを訪ねてみよう。今年36才。全羅南道光山郡西倉面ピョクチン里が本籍地である。現住所は光州市東区鶴二洞595。上の方から祖母と母親、奥さんとまだ結婚していない4人の兄妹、3人の子供たち、そして朴さん自身を含めた11人家族の家長である。全南光州警察署傘下の鷄林洞派出所に勤務している。給料は月3万ウォン。彼の防犯隊員としての生活はいま2年目をあかえている。

——— 3万ウォンで生活できますか？

彼は『生活できる』と答えた。『生活できる』という言葉は『どうにかこうにか飯を食べて生きている』とのことである。彼は付け加える。「防犯隊員」というのは一生の職業にはできないが、『しかし、工事場の荒仕事を見にいってごらん下さい。一日に千ウォンでも稼げると思いませんか。結構ですとも』! このように云う。

彼はまさに数尽きない、ごく平凡な庶民たちに連なる人であった。多くの不満と不平を胸中に溜めながら、一日一日の日課を着実に誠実に送っている、もう一つの面貌を持った庶民である。

孝子賞を受けて

彼は光州農業高校を卒業した。在学中、賞を受けたことはなかった。その反面罰を受けたこともなかった。軍隊でもそうであったが、社会に出て賞を一つ受けた。それは彼が属している「為親契」から与えられた「孝子賞」である。契員たち同志が集って与えられた、彼のこの孝子賞受賞は彼を象徴的に説明している。彼自身の人となりをも物語ってくれる保証票のようなものである。

ふつう、人々の日課は朝から始まる。しかし朴さんの始まりは夕刻である。いわば「夜の人生」である。夜の9時半、眠りからさめる。夜食をとる。10時半、勤務地の鷄林洞派出所につく。派出所長から勤務指針の指示を聞く。11時、管内哨所に配置される。3名一組になる。出勤だ。各哨所を中心に明け方6時まで管轄区域の街と通りを巡察する。一夜に歩く距離だけでも20キロ。ハリコミもする。朝6時半、家路につく。朝食をとって10時半まで睡眠。昼の腹ごしらえにわずかにばかりをとり11時に光州防犯協賛会(会長:宋享瑄)に出席する。夕方6時まで防犯費収金に出かける。再び家路につき収金整理をして夕食。そしてまた睡眠。9時半ごろ眠りからさめる夜食。そして再び勤務地へ。一日に4度の食事と2度の睡眠をとる。職業としては割の合わない(?)職業に外ならない。

夜の10時半、隊員10名が滞りなく出勤した。防寒帽を被り防寒服を着用。軍靴をはく。「防犯」と記された腕章、フラッシュ、防犯棒、呼笛など全てを持つ。組長・朴春奎さんがみんなを2列横隊に集合させる。卓呼。隊員・蔡容洛、安鳳淳、文珪本、曹光仁、曹光采、吳善鎬、尹永來、朴東和、高明均、そして朴さんを合わせ10名の卓呼が終る。彼はつづいて派出所長・鄭相源(42)警衛に拳手敬礼で報告。所長からの指示。所長は、バズネット・シューズを用意せよと伝えたのにほげしほいのか、早く用意しろ、と云う。昨日と一昨日、脅嚇犯とカミソリを持った窃盗犯の検挙に功をあげた旨の謝辞。として一ヶ月前、商店から時価10万ウォン相当の石炭23箱を車で積み去った事件の捜査に積極的に当たってくれ、などを指示する。

刃物を持った暴力犯とも対決

出勤5分前。派出所にはタクシー代を払った、払っていないでもめている運転手と客——。運転手が客にえり首を捕えられて入って来た。二人共皮ジャンパー穿。青スポンにジャンパーの運転手は角刈りで短身。「客が間違っている」と云い、長身でハイカラな乗客は、「運転手の方が全然ほっていない」と云う

『あ、このガキの』

『このガキや、外へ出て決着つけようや』

二人共、粗暴である。こぶき合ひ、ののしり合ひ。警察官が間に割って入る。が、出勤時間——。

防犯隊員たちは何事もなかったように各自配置された哨所へと散らばる。氷寒下の寒だ。この寒さが明け方の4時、5時にもほればどうなるのだろうか。えいでも彼らは休めない。彼らにはほりわいであり任務であるために。鶏林派出所は鶏林1,2,3洞と、東明2洞など4ヶ洞を管轄している。管内面積4キロ、74576家屋の住民4万8450名である。昔の面影をどめていた堤防下のハス池を埋め、また移転していった区教導所あとに新興住宅街が建ち並ぶ、貧富の差がほほほだいい地帯である。単に郊外というよりは光州市の外郭地域と連結している地帯で、いまだに零細民が多いところである。住民の約1/3が零細商業に従事していて、小規模な商店、一ぱい呑み屋が多い。鄭所長は、この地帯は旅行性犯罪、とくに暴力犯罪の多発地域で、一日平均5.6件の暴力事件、窃盗が2.3件発生している、と語る。また暴力事件は昔々母たちの刃物沙汰が最も多く、逮捕し

てみると必ずナイフの一つは所持している、と嘆く。 梶野所長によれば、これが光州市内での犯罪の特色に於いている、とのことである。 刃物の所持のために、警察の取締りに神経をすり減らすとのこと。 光州市内の忠壮路、大義洞、大仁洞などの中心街を拠点にしている、これら青少年犯罪組織は「OB派」をはじめ、「大仁派」「西ヶ丘派」などが主流を占めていて、ほかほか根絶されずにここ鶏林派出所管内にもあちこち出没するということである。

防犯隊員は警察に準じた業務を遂行し、警察官を補助しているとのことである。 しかし基本的業務は盗難防止、それも予防に重点を置いている。 だが彼らはこの単純な盗難防止の業務を遂行するだけではない。 通行禁止違反事犯や暴力事件にも出動せよばえれに対処しなければならぬ危険も負う。 彼らが街角に立つだけでも種々の用務が起きる。 さまざまな事件に対して警察を補助しなければならぬ。 警察の片手代とならなければならぬ。

一言で云って警察の「使い走り」である。 哨所を「コール・ボックス」とも云う。 緊急事項があるときは手動式の警備電話を通して派出所に連絡することができるため、そう呼ばれている。 あるがなしか半坪ほどの広さの哨所は、鉄板製で、電気カーペットが敷かれ、勤務日誌が備えられている。 11時から午前0時までには主に哨所を中心とした管内を巡察する。 0時から朝6時まで巡察と埋伏勤務を併行する。 埋伏は主に盗犯ひん発地域および虞犯地域の周辺に隠れて各種事犯の発生を監視して、「コール・ボックス」の警備電話で派出所に連絡したり、直接介入することをさす。

泥棒扱いにされることも

この夜、朴さんが配置された哨所は鶏林1洞、光州高校前哨所。 蔡容溶、曹光采さんと一組になった。 担当哨所へ赴く途中、文珪本、高明均、尹永來さんらの担当哨所である東明2洞鶏林5街のコール・ボックスで、またまたタクシー代を置いた、置かないとかで争っている客たち一行と運転手の向を引離す。 担当哨所へ赴く。 通行禁止サインが響きわたる。 帰宅の遅れた人々が跳梁している。 ある人は逃げ去り、ある人は「ご苦勞さん」と云ってちよとの向、立ち止まる。 ひよるひよる歩き船員。 しきりにもがいている船員もいるが、その程度のことばざらである。 あげくには路端に寝るべっている船員までいる。 そのまま放っておけば凍死してしまう。 二人で抱いて行く。 家を深してあげなければならぬ。

担いで行くと嘔吐をはじめた。背中をたたいてやる。十五夜の月が中天に浮んだ。星がキラキラと散りはめられている。あたりは静寂、すべてが寝静まっている。この家、あの家からセキを打つ音が聞えるのみ。夜は深まっていく。この船乗りを送り届けて再び巡察。鶏林5街のコーレ・ボックス組と出会う。鶏林3洞141の16号、崔某(女性)家の内がガラリと開かれたままである。内のなかほどに新品の自転車が一台、放置されている。フラッシュを照らして内をたたきながら、『主人はいますか?』と何度も呼ぶ。しばらくして一人の中年の婦人が、眼をこすって襟を整えながら出てくる。『自転車を紛失すれば、どうするつもりですか?』とたしはめると、婦人は『ありがとう』と云ってガラガラッと内を閉めた。

村さんの話によると、こんなまでしてあげても『ありがとう』の一言すら云わない住民が多くて、ひどい場合(自転車などを)失くしてしまうと、防犯隊員の責任に転嫁して、あげくには隊員たちを泥棒扱いすることもしばしばあるのである。決して望んでいるのではないが『ありがとう』『酒でも一杯のんでいけ』の一言すらかけてもらえないのが、いささか恨めしい、というのが(隊員たちの)本音である。

制限された業務限界

村さんは、防犯隊員は「絹服の夜道歩きのようなものだ」とたとえる。土浜は服を着て街を歩いても、夜なので誰ひとり振向いて『あー いい服だねあ』とうちやんでほくほくはない。その絹の服を着た人の気持がどれほどはかからないものか。防犯隊員は夜の番人である。住民が安心して眠れるよう、夜を徹するが、誰もまっとうに見てくれない。気の毒という世は……。

防犯費徴収のときをとってもそうである。貧乏人はキチンと払うが、金持は反村に千ピリ千ピリ小出しにする。貧乏人は防犯費3ヶ月2000ウオンの請求に『50円だけにしてくれ』というような情態だが、金持は玄關さへ開けようとはしない「恥知らずだ」という。おまけに彼らは防犯費を出すというのではなくて「国の予算から出すのが当然だ」と云い張る。何やかや税金が重あうために防犯費ほどの「雑賦金」を取るから住民たちの反感を更にかつている、というのがである。

泥棒は季節的に八月の杣夕、新旧の正月前後、時間的には明け方3時から5時半までと午前0時から1時半までが一番多い。この時間に行れば気をひきよめなければならぬ。泥棒をつかまえることは当然だからさうであるが、被害にあつて防犯隊員たちだけに(住民は)非難を浴びせるので、いさかい真剣にはあつかない

、というのが隊員たちの一致した言葉である。しかし彼らは余りにも制限された業務限界のために困難を味わっている。警察側は防犯隊員らに対して協助要請を強調することはあっても、防犯隊員側からの警察への協助要請にはあまり気乗りを示さない実情が、防犯隊員たちの業務遂行に困難さを抱かせている。泥棒やちよとした暴力事件を取逃しても犯人たちは向違ひなく光州市内の下宿とか旅人宿に潜伏しているのだが、それらを検向する権限は防犯隊員たちにはない。いち早く出勤しなければならぬ警察が「ぐずぐずしたならば泥棒きり氷の泥ほひのである。

朴さんは語る。防犯隊員の中には、営業時間の過ぎていたる商店を大目に見てやて酒をよばれたり、帰宅時間の遅れた者からカネをせびったりする隊員もいる。それで防犯隊員たちを「とんでもない奴らめ」と見なす住民も多いが、すくなくともわが隊員たちに限って言うのではない、と語気を強める。呑み屋でケンカを仲裁して殴られたり、泥棒を追いかけていて大にやまされたりするのが防犯隊員なのである、とも語る。光州のこの鶴林派出所の場合は言うてないかも知れないが、ソウルのような所では防犯隊員への凡当りは強い。非難される行動は慎まなければいけない。

悪夢の過ぎし日

朴さんの顔に沈痛な光が流れた。過ぎし半生の懐悟にひたっている。祖母・李黙伊(84)、母親・申光順(57)、奥さんの金順徳(27)、弟・奉奎(21、朝大工専休学)、妹・慶順(23、湖南乾電池勤務)、五福(17、東明女中在学)、良順(14、無職)として3人の子供・鐘一(5)、志賢嬢(3)、生後1ヶ月の赤ん坊(女)など11名の家長が歩んできた道は長くはないが険難であった。

—— いちばん苦帯したのは何ですか？

苦帯の連続であったと云う。国民学校のときにはムドン山から木をきり出して千ゲで背負っていた。60年10月軍入隊。63年9月に除隊。除隊してすぐに父親、胃がんが数年間病んでいた父親(朴夏国)が死去。当時あった家一軒は、父親の病院費にすべてついてしまった。長男の奉奎さん自身が受継いだ遺産といえば「おのれ、身体ひとつに家族たち」であった。松汀里飛行場滑走路の工事に出る。粟一升30ウオンしていた時分、やっとの思いで粟をぶどうすいにして食べた。母親はおちこちに恵みを受けに通った。3年後、いまは結婚している弟・奉奎(21)さんと一緒に池元洞石山に行く。二人で一日150ウオンの稼ぎになった。米3分の値であった。やっとな母親が路上で野菜売りをすることができた。朴さんはアイスクリーム売りになる。

弟に手に入れた自転車一台をある日紛失、母親は呆然とされた。その母屋に朝鮮大
学校の総合運動場工事が始まり、兄こへ行く。モッコかつきで石を車に積み込む作
業をした。やがて弟の方は軍に入隊。運動場工事が終ると付属病院建立工事が始
まる。昼はモッコかつき、夜向は現場巡視を任せられる。一日に2時間の睡眠。
いま考えると兄の時代「悪夢の歲月」だった、と語る。72年春まで7年間の刻苦。
28万ウオン左手にする。軍に徴発されていた土地の保証金10万ウオンの支給と合わせ
て今の家を購入。土地35坪、建て坪15坪。父親の3年喪。妹3人の出家。
本人と弟の結婚。弟・暉奎さんの高専入学などの大事をやりとおさなければならな
かった。そんな彼に為親契から「孝子賞」が授与された。朴さんこそ韓国の伝
統的家族に生まれ、兄の家族制度にしたがい、長男としての役割をまさしく果してきた
人であった。

義理と人情が恋しい

彼にとって、もっとも生きがいを感じて嬉しかったことといえば、やはり家を買っ
たときであった。ひとつの趣味でも持つことはあるが、いまだに糊口の策に汲々とし
た人生である。将来の希望も別はない、と云う。ただ3人の子供にまともな教育
を受けさせることができれば、というのが一番の望みである。

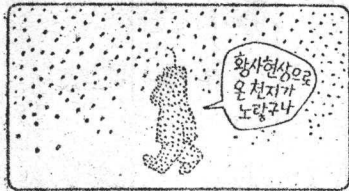
彼は朝鮮大・石山の仕事をしていたあり熱心に日記を書いた。兄の当時の
日記の中には、拙ない筆跡であるが、生の虚無感、いかにそれを克服していくかとい
う強い生きざまをうかがわせる。彼は兄のとき、松の木や山の堂々とした姿を限
りなく賞讃にやまなかった。兄として人間は互いに信じ合わなければならぬ、と書いて
いた。

物欲は悪いことであり、義理と人情で生きていくのがみさかい、と強調し
た。他人をおどかさず侮辱しないのがいちばんいい、とも語った。世の中が兄のため
に殺伐としていくのだ、正直でなければならぬ、という諷刺である。

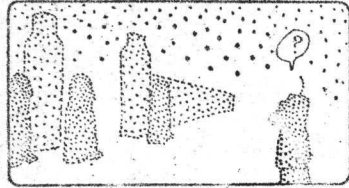
『世の中が正直を命づけてくれたでしょうか？』の問いに、彼はさすがに『命づけて
くれた』と答えた。本当にそうだろうか。正直は人間が償いを受ける世の中でありたい。

いま、彼の家は、彼が青春をささげて種み重ねた、あの朝鮮大付属病院
の石垣の下に、つぎされるように位置している。常にこの家に和やかな春の陽が
輝くだろうか。

4.10



黃砂現象に
みんな黄色だ



学生さん
なぜ、校門の
外に立ってるの



われわれは軍人だ
7号公布で
警備中だ



4.12



※送せよ
「戒告状」



校門をひらけ!
とじよ!



さがしたせ!
双罰せよ!



「文教部」
これからのことは
私もいろいろ
仕度.....ヒヒ

(15)

4.11



判決後一日に
死刑執行



弁護士 牧師
學生 産
拘束! 拘留!
送致!



家長を守り運動

4.14



大學問題は
総長が辞任する
といて解決するの
ではない



むしろ、2차 데모의
때는 片方の
あごし"と...

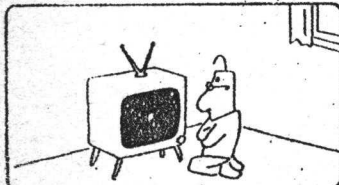
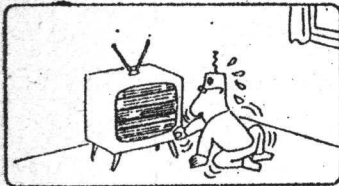
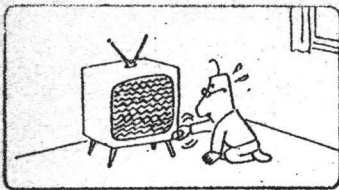


二次デモのとき
には 残りの片を
残りの片を...



三次の時には
片方の頭を
かぎりに.....
かぎ
どうなるか?

4.15



近頃の時局を
見られる方。
一回・100円

4.16



むかしの見合
趣味は何であらう?



数年前の見合
特技は何であらう?



最近の見合
ジロ
ジ로



一回の食事に混合穀
何杯い、必要ですか?
「引上」

4.17



最近 事実上の
戦争状態であらう
なんと?



それで ソウルを
死守すると言いつけ



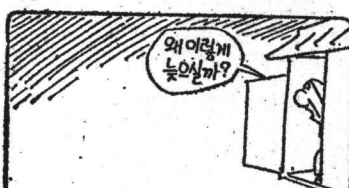
数日後
それで 戦争は
どうなりましたか
なんですか



ソウルは取りもど
されたか之のあ、と
聞いてみるであら
ヒヤーツ

(16)

4.18



なぜソウルが
あそいのかしら?



まあ!
ベロニバロンに
あつて

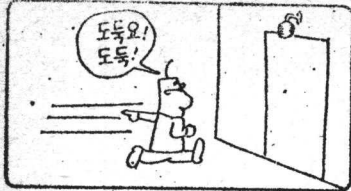


政府と誤った
クメール国民が
かわいそうで.....



ベトナムが 再び
誤つたら大変だね

4.19



どろぼうだ!
どろぼうだ!



つかまえて
くださいよ



つかえらば
はよ
いや
つかえらば
はよ

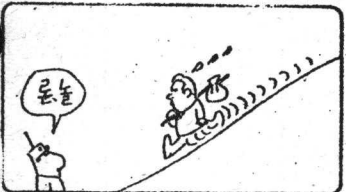


いや私がつかま
えられたという
話さる
銀行詐欺収賄
容疑で.....

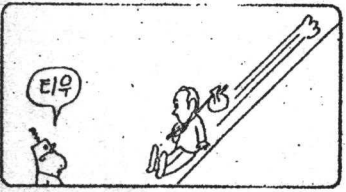
4.22



ニクソン
田中



ロン/IV



チュー



下野への道は
だんだん急に
はるなあ

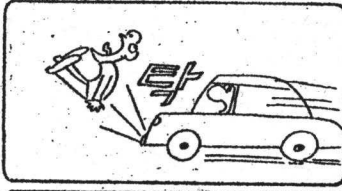
4.21



私の月給でしか
120箱以上
買えないなあ



レタ6個と
10ウニガ
1箱



ドーン



たはこ何箱だよ?
何箱? 私の治療
費と謝料は.....

4.23



小銭しかはない
たは之はないか?
たは之は.....



このほかにはない?
さっさとうせろ!



あの男は
半箱くらい.....

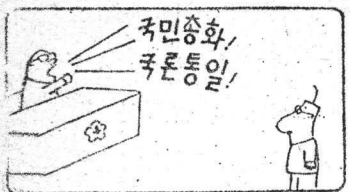


なに
たはこも材はないだ!
いだ!

바우영감 (6397) 김성환

4.24

国民總和
国論統一



「東亞日報」
ここに5ヶ月
広告を食べて
いるトッケビが
いるよ



トッケビくん!
おまえの標語は
なんだい?



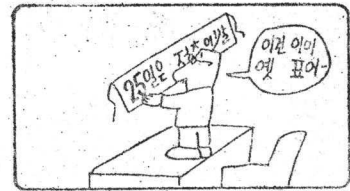
国民不和
国論分裂

바우영감 (6398) 김성환

4.25

数年前

生活費
貯蓄費
「25日は貯蓄の日」



これはおとに
むかしの標語...



昨日
「25日はたぬきの日」
つけのお金
つけのお金 トー.

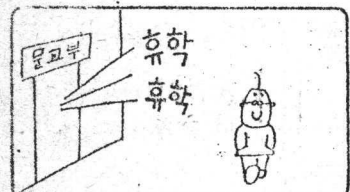


今年
「25日は、目の前が
あくらになる日」

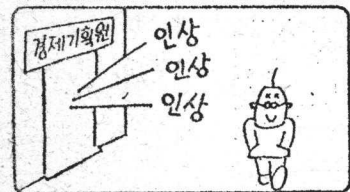
바우영감 (6399) 김성환

4.26

「文教科」
休学
休学



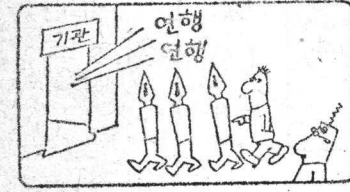
「経済企画院」
値上げ
値上げ



同じことばは
聞きたくはないから
新しいことばを聞
かせて下さい



「銀行」
連行
連行



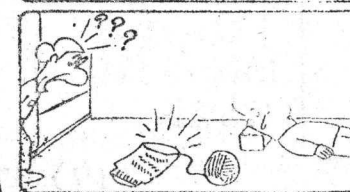
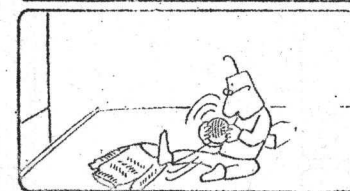
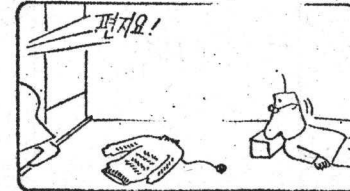
바우영감 (6400) 김성환

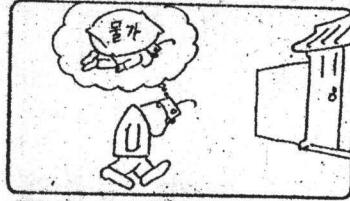
4.28

春のセーターは
おなま、さくので
これと着ては見に
行きましょ



郵便でーす!





4.29

「物価」



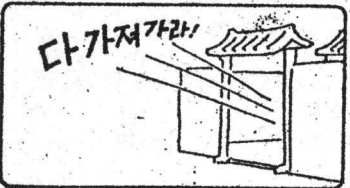
財産税が2倍に上がったよ!

2週間以内に払わなければならぬと言ってるよ!



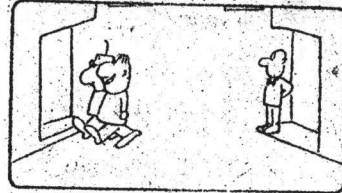
すぐ扉を叩いて知らせよ!

まだしも 門を叩いてあげよう

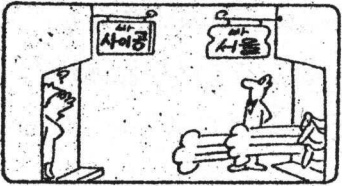
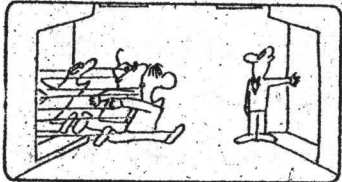


みんなもどけ

4.30

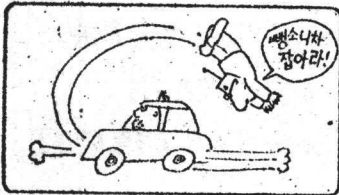


サイゴンの韓国大使館が 輸入する



バーサイゴン バーサイゴン

5.1



ヒキにけた つかまえろ



ベトナムを見ろ! 私たちの同志の失敗には目をこらしてあげよう



借金をかた



ベトナムを見ろ! あがの金、わたしの金には区別をしないましよう

(19)

5.2



そのあながか まに不正腐敗にあがが できる



いまは 言う事は ないだろう?



ちよっと! 花が「EX」に かわるよ! 心配はなし



本報の広告解約大量事件が発生してから5ヶ月目に入りました。勿論この事態が「東亜」にもたらした不幸なことは疑い余地のないことである。国内的には云々も存在するが、国際的に非常な物議をかもしてしまっているからである。人権問題に對する調査を果敢としたことでも有名になったプレイヤー米下院議員が4月の会談で多くの人士達が東亜広告事態に關する発言をしたという事実は、東亜広告事態が国際的に非常な重要性を帯びた問題であるというべき物語を2冊とれるのである。

これでも、東亜広告事態に對するこの真相が未だに五里霧中にあることはなんと云へたか。これは「広告主と東亜日報社との関係」であるとだけ言い、何ら解決策を考へずに、そのまゝするすると進んでいくことが国家の事次元から見ても望ましいことであるのかどうか、深く考へなければならぬ問題である。

広告主たちが広告解約をするようにした背後が4ヶ月を越えても明らかになっていないこの現象自体が、人権問題調査を果敢としたプレイヤー議員の「東亜広告事態に關する発言」の動機でなかつたか。勿論、「東亜広告事態」が発生して今も解決されないことについて官憲介入の可否は、強いて、語る必要を感じないのだが、誰かこれを引き起こした時、この重大な人権問題であることは、争う余地がある。

その存在するならば、この国が法治国家である以上、このような人権問題をそのまゝ無限定に放置しておけぬことであると考へる。アメリカの海外援助法32条(人権条項)をみまわると、75年度、対韓軍援額(1億44500万ドル)の中の2000万ドルは韓国人権問題に關連した留保事項として、議会の附帯条件をつけて通過(74.12.11)されたという事実に對して、深い関心をよせることかであるならば、東亜広告事態が自由言論という基本的人権に關する問題であるというならば、東亜広告事態の国際的波紋が、どのようなものか推測しても余りあることかである。

人権問題に對して、非常に重要視されている構図をどうするか、構図を受けとめる人、構図したという人、再び念をなす限り、殊に構図現場を筆直

接、目撃ではない限り、明らかになることが、困難であるとしても、東亞広告事
 態のようなものは、東亞日報を買った年にしただけで、もし東亞放送を聴取し
 ただけで、簡単に確認できることであり、東亞広告事態の背後責任がどこにあ
 るかを究明しないとしても、韓国の人権状況は容易に測定できる。

よって、東亞広告事態は、国家的次元から見ると、非常にほろかしい事態で
 あるだけでなく、非常に不利な事態だと云うことが出来る。このように、誰であ
 るも自害^{やば}があるだけで、一利もないこのような事態を将来もまたつづけようとする
 ことが、果敢^{やば}賢策と見えるのか、正確な判断を下さなければならぬ時が
 近づいてきたと考える。当事者達の明察を促すものである。

大学入学予備試験 11月12日

・ 外国語に日本語追加

体力検査の配点 20点 12月3日

〔東亜日報 1975. 4. 26付〕

26日 文教部は 76年度大学入学予備検査を来月11月12日に実施するに決めた。

検査科目は5科目の予備に 国語、国民倫理及び社会、国史、科学、外国語実等及び家庭等7科目を加え、外国語科目の中に、日本語を新たに追加。英語、ドイツ語、フランス語、日本語、中国語、スペイン語等の六カ国語のうちから選択するに決めた。

出題は5科目通し、高校教科書を中心に行うという原則に定めているが、配点は最終確定はしていないが、75年度と同様に、学科成績320点、体力検査20点と見られる。

京の京大

① 英語の単語

7.14
24

申
日本

日本文化の理解

教授らの学業分担指導制強化

文部省 学園事態収拾・留学参国策のため
教科・生活指導に責任

1人が20~30人担当。一部大学では「勉強専念」宣言も

[東亜日報 75.5.15付]

文部省は学園事態収拾のため、各大学に従来形式的に行われていた学業分担指導制をいっそう強化して運用するよう促している。このように文部省方針に従って、1日現在、ソウル大をはじめ全国のほとんどの大学は学科別及び学年別に指導教授を担任教授を選定、1人の教授が20名守り30名ずつの学業に当たる。教科指導と生活指導の一切の責任をわけるにしている。

このように学業分担指導制の目的は、従来のように学業部長や担当教授の力だけで学園問題を解決しようと判断、教授全員が事態収拾に積極的参加し、学園秩序と留学参国策と取戻そうとするため。

各大学で南講義の再授再考を念ひとめるため、指導教授自身に、特に「問題」学業にだけ対し、家庭訪問、父母面談月ごとで身中記録しているが、一部大学では、学生に「再び授業に付加する勉強心の再宣言」を求められている。

このように学業分担指導制をめぐり、東国大、成均館大、延相学級などの大学は、総長名で家庭通信文を学業と父母の連携、事態収拾に協調し、(お子)よう親が教科別に自習課題を与え、南講義中面談と実施している準備土にしている。

